

ふれあい



西町神功皇后車



東町布袋車

中町唐子車

有松の山車まつり

本会は、会員相互の親睦を図り、かつ、生涯学習の一環としての学習活動を推進するとともに、地域活動に貢献することを目的とする

緑鯨城会QRコード



発行 | 名古屋市高年大学鯨城会 緑鯨城会

名古屋市高年大学鯨城学園

編集 | 緑鯨城会 広報委員会

昨年はコロナ緊急事態宣言発令により緑鯨城会総会も中止になりました。
 その後も第2波、第3波に苛まれ、多くの行事が中止・延期となり前例なき運営が続きました。
 本年度も直前まで判断が難しい状況下、何とか「令和3年度総会」は開催できましたが、第4波
 感染拡大により、5月12日から3度目の緊急事態宣言が発令され、又も活動停止となりました。
 厳しい運営の続く日々ですが、この困難を一致協力して乗り越えていきたいものです。

令和3年度総会

日時：令和3年4月14日（水）

総 会 13:00～14:15

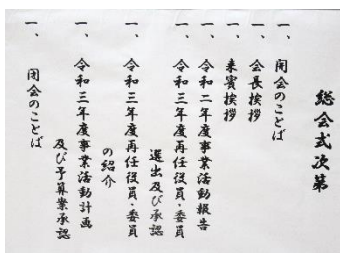
アトラクション 14:30～15:00

出演：銭太鼓緑同好会 緑健康太極拳同好会

会場：徳重地区会館4F 体育室

（緑文化小劇場改装工事のため初めて地区会館体育室で開催）

* 審議事項は全て承認されました。詳しくは総会要綱、緑鯨城会オリジナルホームページをご覧ください。



目次

表紙（有松の山車まつり）	…P1
令和3年度総会・目次	…P2
緑社協メッセージ・会長挨拶	…P3
総務長・期別委員長 挨拶・抱負	…P4
ボランティア委員長・会計長	〃 …P5
行事委員長・広報委員長	〃 …P6
副会長（作品展）・鯨城会幹事	〃 …P7
顧問・期別委員（19期）	〃 …P8

期別委員（21期・22期）挨拶・抱負	…P 9
期別委員（23期・24期）	〃 …P10
期別委員（25期・26期・27期）	〃 …P11
期別委員（28期・29期）	〃 …P12
期別委員（30期・32期）	〃 …P13
期別委員（33期）	〃 …P14
短歌・俳句	…P14
ウォーキング同好会・同好会広場	…P15
鯨城会会員数の推移・編集後記	…P16

表紙



東町布袋車、中町唐子車、西町神功皇后車が曳行し、楫方の見せ場「車切り」と呼ばれる方向転換、山車の擦れ違いやからくり奉納をした後、楫方や囃子方が天満社への総参りを行い、神事を納めます。
 夕方からは提灯を取り付け、幻想的な姿へと変え、夜祭りをおさめます。

活力ある緑鯨城会の皆様



緑区社会福祉協議会事務局長 鈴木 伸

緑区社会福祉協議会事務局長の鈴木でございます。日ごろは、本会の地域福祉の推進に格別なるご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

緑鯨城会におかれましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの活動が中止を余儀なくされましたが、新海池公園・要池公園における清掃活動をはじめとして、雑巾の縫製によるご寄付と仕分け・福祉施設への配布、そしてマスクのご寄付など、多くの会員の皆様の参加によるボランティア活動が取り組まれています。

緑鯨城会の活動は大変多岐にわたるところであり、改めて会員の皆様のご尽力に対しまして、深く敬意を表するとともに、心から感謝申し上げる次第でございます。

さて、緑区の人口は24万8千人、65歳以上は5万7千人となっています。この高齢者数は名古屋市で一番ですが、介護度を示す認定率では17.9%となっています。これは、名古屋市では一番低い数値となっています。若い世代の転入により元気をもらい、緑区の地形と環境が、皆様の健康の一助ともなっているのではないのでしょうか。コロナ禍の収束を祈りつつ、皆様の知識と豊富な経験を生かした地域活動の輪が、これからも広がっていくことを期待しております。

最後になりましたが、緑鯨城会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝と更なるご活躍をお祈りし、ご挨拶とさせていただきます。

緑社協とは

「社会福祉協議会」とは、社会福祉法に基づき設立された「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」です。緑区社協では、高齢者福祉、障害者福祉、福祉教育等の様々な福祉課題に、行政や関係諸機関、団体との連携・協力のもと、「すみよい福祉のまちづくり」に取り組んでいます。

令和3年度「コロナ禍」の目標



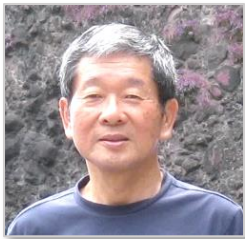
会長 高野 孝 (31期 国際B)

会員の皆様、「コロナ禍」如何お過ごしでしょうか。

年度は、令和2年度から令和3年度に代わりましたが、新型コロナウイルス変異株の猛威による「第4波」到来です。緑鯨城会総会は、「まん延防止等重点措置」発令の間隙を縫って開催させて頂いたものの、5月12日に3回目の「緊急事態宣言」が発令され、残念ながら活動停止状態となっています。高齢者向けワクチン接種も始まりましたが、集団免疫を勝ち取るまでかなり時間がかかります。ただただ「自己防衛」あるのみだと思います。

さて、先期の目標は、「在校生と区会の交流強化」により区会会員数の減少打破を発信させて頂きましたが、全く「絵に描いた餅」になり、令和3年度在校生入会者は0。令和2年度会員数301名から38名減少して、263名のスタートとなってしまいました。

期首に当たり、高らかに活動方針、目標を掲げたいところではございますが、当たり前の事があたり前にできない「コロナ禍」。原点に戻り、区会2大イベント「令和3年度趣味の作品展」と「令和4年度の総会」の実現とさせていただきます。ご理解と御協力の程、宜しくお願い申し上げます。



楽しく魅力ある緑鯢城会に

副会長・総務長 山田 正明 (31期 園芸)

昨年よりの自粛生活で体力低下を感じる人が多いと言われています。

特に高齢者は体力低下により足腰痛、骨折等の障害だけでなく知力低下まで発生する懸念があります。令和2年度緑鯢城会会員で今年退会された人でも、活動機会の減少による体力低下を理由として挙げられた方がかなりみえました。昨年は行事委員会、ボランティア委員会等のイベント、同好会活動も中止が多かったのですが、今年は何とか活動を再開して会員の皆様の健康維持、増進ができるよう企画していきたいと考えています。また緑鯢城会の問題点、課題として会員および役員の減少があります。魅力ある緑鯢城会にするにはどうしたら良いか？を考えていく必要があります。具体的には今年は会員減少対策として在校生の趣味の作品展、行事、ボランティアイベントへの参加を企画したいと思います。

そして昨年度より検討してきました緑鯢城会運営の転換として、役員中心からサポートチーム制度による会員全員での企画運営を本年度から開始したいと考えています。各サポートチームからの活発な意見、提案を頂き、緑鯢城会を活性化し、会員の皆様に楽しく参加頂けるように、していきたいと思っています。サポーターの方のご協力をお願いします。

また健康な方はサポーターに立候補、活動頂きたくよろしくお願い致します。



サポーター募集

期 別 活 動



期別委員長 山下 富和 (31期 園芸)

無事令和3年度の総会も終わり、本年度もコロナ禍より始まりそうです。

令和2年度はコロナ禍で期別活動もままならず、多くの期別の活動を断念せざるを得ない大変厳しい1年でした。

いよいよワクチン接種も始まり、少し希望が持てる1年になればよいと期待しています。

期別活動は、期別で会員相互の親睦を目的として活動していますが、コロナの変異株により1密でも感染の恐れがあるとの事で、活動自粛も求められます。その為、期別懇親活動の行事は残念ながら全て中止となりそうですが、公園清掃等の屋外でのボランティア活動で、会員間の絆を深めてはどうでしょうか？。

今は新海池公園ボランティア清掃活動・要池公園ボランティア清掃活動は月1回ですが、今以上に活動を増やすことにより、期別会員間の親睦の機会も増えると考えられます。清掃活動をすれば緑鯢城会運営費の足しにもなると思います。

大変なコロナ禍を乗り切るために、緑鯢城会会員皆様のご意見やアドバイスを頂き、より良い期別活動にしたいと思います。





私のボランティア活動の今後

ボランティア委員長 右高 茂夫 (31期 園芸)

昨年度はコロナ禍で施設訪問ボランティアが中止になりました。マンネリズムになっている活動ですが、普通に出来ていたことができなくなり残念でした。今年中にワクチン接種率が90%以上になると、コロナ感染症も収束に向かうと思います。

その時は、2年近く遠ざかっております施設訪問ボランティア活動も、以前のようにできるのではないかと思います。しかし、緑鯉城会の今年度の組織人数は減少しており、ボランティア、行事の参加希望者も減少しています。アンケートによると、会員数の30%弱の75名は緑鯉城会の運動に何らかの活動に参加する意思を持っています。でもコロナ感染症により自分の身体は自分で守るなかで、ボランティア活動のモチベーションも下がってきていると思います。又、義務的にやっていると思うと、楽しくないし、個人の負担になっていくと思います。組織の中で行うボランティア活動は、数年が過ぎると辞める人がほとんどです。私もそうなると思います。

個人の趣味、好きなことをボランティア活動に生かすことができれば一番いいと思います。

私も体が元気なうちは、組織の中で何が続けられるのか、考えていきたいと思っています。



会計1年目を終えて



会計長 上野 英生 (31期 文化A)

思わず2年間会計を担当することになったが無事？に1年目の会計担当業務を終えることができた。会計業務の担当が始まった当初に、

- ・共通ファイルにての会計管理
- ・直感的にわかりやすい会計

を目指すことにし、各役員の大なる協力のもとで平成2年度を何とか乗り越えた。

共通ファイルに基づく会計処理は、大きな効果をあげて正確かつ効率よく行え、わかりやすい会計に関しては、一例として会費納入に関する銀行の手数料を会費納入欄に記述することにより、手数料があること、およびその額がわかり全員の共通認識とする事ができ、効果があったと自負している。

会員数の減少、うち手数料の引き上げなどにより、振込手数料を各会員持ちとして負担を強いることにしたのは心苦しい限りではあるが、知己を頼っての現金支払い、スマホ・PC利用での送金など活用を戴きたいと思っています。

コロナ禍での活動が縮小している中でも緑鯉城会の活動は続いており、来年度の予算においても5年毎の記念活動も含めて、余裕を持った予算を組むことができ、ひとまずほっとしているのが現状である。なお収支表に関しては、一緒に会計処理を行っているY氏が素晴らしい新共通ファイルを準備して戴いたことにより、より洗練された会計業務が、今年度には行える事と期待している。

ここに各役員、Y氏に謝意を表したい。

広報		出納帳		シートごとの、科目別の合計が、収支及び損益の数字に反映される。		各科目ごとの支出の累計が反映される。	
科目表	作品費	総会費	区民まつり	ボランティア	行事費	広報費	期別
	0	0	0	0	60,956	0	39,044
会議費	事務費	雑立金	郵送費	分担金	予備費		前受金
0	0	0	0	0	0		80,000
チェック							
番号	月日	科目	摘要	振込書番号	収入	支出	残高
1	4月1日	増繰金	前期繰越金		129,044	60,956	68,088
					39,044		4/1



2年目の行事委員長として

行事委員長 金原 孝夫 (31期 地域B)

令和2年度の緑鯨城会の活動は、4月に政府より発令された「緊急事態宣言」により、中止・中止の連続でした。行事委員会の活動もバスツアー2回、見学・散策2回、映画鑑賞1回を計画し、会員の皆さんから多くの参加申込をいただきましたが、残念ながら一度も実行できませんでした。

令和3年度の緑鯨城会の活動は、年度初めの「緑鯨城会総会」は何とか徳重地区会館よりスタートできましたが、昨年に引き続く「緊急事態宣言」により、またしても活動の中止状態が続いています。行事委員会の活動も5月に初めての試みとして、「郷土の歴史を楽しむ会」(同好会)との協賛で「関ヶ原古戦場記念館・古戦場モデルコース散策」を企画しましたが、中止せざるをえなくなりました。今後の行事活動計画は、会員の皆さんのご意見・ご希望をお聞きするだけでなく、郷土の歴史を楽しむ会との協賛に続き、秋にはボウリング同好会との協賛で「緑鯨城会ボウリング大会」を計画中です。また、高年大学の授業が秋に始まりましたら、緑区在住の在校生の皆さんにも緑鯨城会の行事に参加できるようにしたいと思います。

新型コロナウイルス感染拡大の脅威がこれからも予断を許しませんので、「3密」・「マスク着用」・「手洗い・うがいの励行」に心がけ、「コロナ禍に負けないで、緑鯨城会活動への参加を目指しましょう。」



緑鯨城会の衰退と運営危機



広報委員長 奥野 幸泰 (31期 生活A)

新年度がスタートして1ヶ月余、またもや愛知県に緊急事態宣言が発令されました。前年のような日々が繰り返されるのでしょうか？昨年度のコロナ禍状況下、広報委員会としてどのように対処すべきかと悩みましたが、「非日常事態下」で活動の縮減が続くと、「コミュニティ」が消滅し、緑鯨城会の運営や存続の危機につながってしまうのでは？と思うようになりました。

“活動を休止”と言う意見もありましたが、非対面・非接触・3密回避で、何とかできる方法はないのか？ピンチだからこそ必要であり、今やり方を変えなければ会の衰退に拍車がかかるのでは…。そのような思いから、非対面でも活動可能なツール“オリジナルホームページ”を立ち上げました。令和3年度におきましても、「緑鯨城会ホームページ」を会員相互の情報発信・情報共有の場として利用・活用し、新しい活動コミュニティの形成を目指すと共に、さらには役員業務の効率化と負担の軽減や、現状課題(会員の減少・活動の縮減・役員の担い手不足)に取り組む改革へと繋げていきたいと考えております。「ホームページ」と「Eメールネットワーク」の活用で「緑鯨城会ネット通信会議」を開催運営すれば、コロナ禍でもタイムリーに協議、決定できるようになります。

又、運営委員会メンバーだけでなく、広く意見を募るなど、全会員の迅速な情報共有も可能です。**ビジョン×熱意×行動×参加人数＝未来の姿**

まずはアクセス参加することで、活動参加への第一歩が踏み出せます。

本会存続・継承のためにも、「全員参加型運営」へ変える行動を起こしましょう！



コロナ禍緑鯨城会と問題点



副会長 古澤 利之 (32期 地域A)

「趣味の作品展」、昨年度はコロナ禍中止となりましたが、今年度は是非とも作品展の開催実現を目指し、可能性を求めています。

緑区役所講堂がワクチン接種会場に使用され、先行きの見通しが立った時点で、改めて皆様にご案内します。

昨年度の鯨城会行事が中止となり、33期が入会しても期別の相互交流すらできず、残念ながら多くの退会者が生じました。

その上 34期の新入会員がおりません。来年度の新入会員に期待しておりましたが、学園の休校が続き、地域ミーティングも延期となり、勧誘の期待ができる状況にないと思われます。

来年度は32期が中心となって役員会を担うつもりですが、役員不足が未だ解決できていません。このままでは大幅な活動縮小も予想され、更にその先は五里霧中の危機的状況です。

会員皆様の絶大なご支援ご協力を、お願いします。



パイプ役に徹する



鯨城会幹事 廣瀬 義忠 (32期 文化A)

31期の山下富和様から引き継ぎを受け、4月から鯨城会幹事になりました。昨年度はコロナ禍の中、鯨城会の行事やボランティア活動は殆どが中止となりました。但し、ウィメンズマラソンは活動できましたが、反省点を残しました。ボランティアに参加していただいた皆様には、厚く御礼を申し上げます。

本年度もコロナ禍が続いている4月上旬に会議が開催されましたが、役員の顔合わせでした。

その後の会議は全て中止となり、幹事会のグループのメンバー構成は決まっています。

従って、主要計画であるグランドゴルフ交換会、16区フェスティバルの準備委員会も中止となっています。

私の責務は「鯨城会」と「緑鯨城会」のパイプ役に徹し、情報流通をスムーズにしたいと思っています。

早く、行事とボランティア活動ができるようになるよう祈っています。



鯨城会ホームページが令和3年度4月からリニューアルされました。(各区会で運営管理)

鯨城会：全体のお知らせ・令和3年度計画・方針・行事予定・かわら版等が掲載されています。

各区会：区会の概要・スケジュール・区会誌・お知らせ等お知らせをタイムリーに掲載できるようになりました。各区会の活動が閲覧可能です。(参考になるとと思います)



まさかの顧問留任

顧問 近藤 比呂史 (30期 地域A)

昨年来の新型コロナウイルスの感染拡大が未だ続き、度重なる緊急事態宣言が発出されるも現在はワクチン接種による集団免疫効果にすぎるしかありません。昨年度は鯉城学園が休校の為卒業生は無く、必然的に緑鯉城会への入会者も無かった関係上、前年度のほとんどの役員同様に、私も顧問の役を今年度も引き受けざるを得ませんでした。

とはいえ、引き受けたからには、それなりの顧問としての役割を果たしたいと思っております。

緑鯉城会の継続可能環境づくりに尽力し、現役員の方々の運営を見守りながらの適正アドバイス及び引き続き緑鯉城会の魅力づくりに、少しでも貢献できればと思っております。

私生活の面では元の日常近くに戻るまでは「ソロ活」の充実に努めたい。
この機会に自己研鑽の為の歴史関連読書・史跡探訪及び健康保持の為の健康ウォークや、近隣タウンウォッチングなどの散歩、癒しとしてのクラシック音楽鑑賞、懐かしのテレビビデオ映画鑑賞、クラシックギター、また仲間との交流はラインを活用するなど、楽しみの時間を持ちたいと思っております。

緑鯉城会の魅力づくり



一期別委員のこだわり

期別委員 馬越 求 (19期 福祉)

昨年度は、コロナ騒ぎで期別活動は何もできなかった。今年度も、今のところコロナ禍が収まる気配は見えず、先の見通しは立てようもない。

そこで、期別活動のほかに、近年、一期別委員として運営委員会の場でこだわり続け、その実現に向けて努力してきたことにつき述べてみたい。

一つは世話人制度の廃止であり、他の一つは、学園卒業後6年目以降の期別委員の再任を制限しないこと、の二点である。

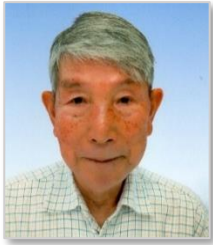
共に、令和2年4月8日施行の緑鯉城会会則改正により、その目的を達成することができた。

世話人については、運営委員会への出席が義務付けられないというだけで、なぜ、期別委員のほかに世話人なるものが必要なのか理解できず、かつて、全ての世話人に電話を入れ、その必要性等について意見交換したこともあった。一人として世話人の存続にこだわる人はいなかった。

卒後6年目以降の期別委員の任期については、期別会員の高齢化に伴い、期別委員の選出が次第に困難となり、交代者がいなければ、期別活動を続けるために、特定の人が任期の制限規定を無視して期別委員を続けざるを得ないという事態が生じていた。

期別委員の任期を他の役員・委員の任期と同様に制限することは、実情に合致せず、妥当ではない。

変革



活動内容の見直しを図るべき時では…

期別委員 藤原 曠 (21 期 地域)

「東京五輪を見るまでは…」を合言葉に会員相互の結束を深めてきた、我が「21 期生会」は、学園卒業後 13 年経るも、今なお 20 名が在籍している。

しかし、その大半を後期高齢者が占めており、行事への参加には、気持ちはあっても、家族の介護や持病を抱えているなどの理由から、やむなく断念する仲間が少なくない。

そんな我々が改革案などを提言するのは、気が引けるし、おこがましいのではないか。とはいえ、あえて言うならば、昨今の状況を見てみると、多岐にわたる活動内容や回数をこれまで通り実行しようとするに、やや無理が生じ始めてきているのではないか？ その為、現状を思い切って変えない限り、たとえサポート体制を構築したとしても、最終的には役員が、大きな負担を強いられるのは必定であろう。

そこで、例えば、

- ① 役員会・運営委員会の実施回数をこれまでの 2/3 に削減する
- ② ボラ委員会における清掃活動は、鯉城会や公的機関からの依頼のみに限定する
- ③ 行事委員会における行事は、年 5 回の行事を 3 回に削減する

など、活動内容を ㊦ 継続、㊧ 統廃合か縮小、㊨ 廃止 かの視点に立って仕分けを行ない、体制のスリム化を検討してはどうだろうか…。



「新卒入会者の激減」対策として、同好会に入部

期別委員 市川 滋 (22 期 陶芸)

人生 100 年時代といわれる今、シニア世代の中にはセカンドライフをどのように過ごそうかお悩みの方もいますよね。

「生きがい」という言葉では、「仕事が生きがいだった自分にとって、定年後はこれといった趣味がない」という方でも不安になる必要は有りません。

視点を少し変えるだけで「生きがい」は意外と身近な場所で見つかることがあります、その「生きがい」探しの目的手段として、皆さんは鯉城大学を目指し、教養と友達作りの一環として少なからず役割を授受して参りました。

本校では学科及びサークルに入部するのが常でしたが、卒業してもその時だけに終わっているケースがままあるので、経験と楽しみを生かすために、緑鯉城会には、同好会が 16 部会あり活動しています。卒業と併せて同好会の体験入部を図る方策を採用することによって、新卒入会者が年々減少傾向にある中、少しでも魅力ある会員増加の道筋となれば幸いです。

シニア世代では、自由な時間、せっかくなら楽しく充実した時間にしたいものですよ。

楽しめる趣味を選び、ご自身に有った趣味を見つめるのも良いでしょう。

新入生よ進んで入ろう同好会へ！仲間が待っていますよ。





緑鯨城会 12 年目の提言

期別委員 安藤 勝利 (23 期 生活 B)

平成 22 年 3 月に鯨城学園を卒業し 11 年が過ぎた。今、当時を振り返ると卒業後は学園設立の趣旨の柱“地域活動の核となる人材養成”を実践するのが当然の考えで、躊躇なく鯨城会へ入会した。同期の緑鯨城会入会者は 54 名と、最近の酷い状況では考えられない位の人数、入会率であった。

広報委員を仰せつかり、3 年間役員として精一杯活動した。実に役員引継ぎが上手く回っていた時代であった。特に思い出深い事は、広報物などの配付担当として“出来る限り声掛けをして配付”が指導されていたので、しっかり時間をかけ配付したことである。今はどうか？ここ数年は殆ど郵便受けに投入され、インターホン越しの挨拶、会話すらない（コロナ禍以前の事）、何か味気なく、寂しく思うのは私だけではないだろう。

さて、改革案という程でもないが 2～3 点気になっている点を述べ、私なりの提言をしたい。まず、毎月の運営委員会の活性化を望みたい。“報告・依頼”の場だけではなく、議題によっては出席メンバーが色々意見を出し合い、議論する場であって欲しい。

次に前述した広報物の“配付時声掛け”を復活し徹底する事で、会員とのコミュニケーションが図れ、区会（緑鯨城会）に対する親近感が増し、貴重な意見を聞く機会にもなるのではと考える。

会員激減対策は、ここまで深刻な事態になっては各区会での対処には限界が見えている。本部鯨城会と学園との連携で強い対策が必要と考える。例えば、「卒業後最低 3 年間は必ず区会活動を通し地域に貢献する」を入学誓約書（？）に記載、そして卒業時にはクラス代表、学生協議会、学園、及び区会の四者が連携しフォローするなど、きめ細かい対策が急務と考える。結果として区会活動が活性化され、地域社会に貢献することが、学園として市へのアピールにもなり、過去にあった行政による“事業仕分け”再現回避の対策にもなると確信する。

以上 実現が可能な事、難しい事があるが緑鯨城会、鯨城会、鯨城学園のためにも、今こそ各区鯨城会が足並みを揃え、声をあげる時機と強く感じている。



「同期の桜」24 期会

期別委員 内山 品幸 (24 期 福祉)

24 期の皆様が緑鯨城会に入会したのが 2011 年ですので、10 年経ちました。

「光陰矢の如し」、速いものですね。

この 10 年間で亡くなった方もいますし、体調不良で退会された方も見えます。

現在 16 名と随分少なくなりましたが、「同期の桜」の仲間として、緑鯨城会行事及び 24 期会行事に参加して元気な姿を見せていただけないでしょうか！

24 期会行事としては 9 月「半田矢勝川彼岸花鑑賞会」、来年 3 月「総会」開催予定ですので、それまでにワクチン接種を終えてご参加の程お願い致します。

いくつになっても「教育」→今日行く！と「教養」→今日の用事は必要です。



「同期の桜」24 期会あの日・あの時
(2017 年 6 月 26 日「梅の花」)



「コロナ禍で思う事」

期別委員 水谷 健二 (25 期 国際)

前期期別委員の方から、橋本さんと私が 25 期の期別委員を引継ぎました。ところが令和元年 12 月に中国武漢で発生した新型コロナウイルスは世界に拡散して、令和 3 年になってもコロナは衰えず、思うように活動が出来ずに時ばかり過ぎて、25 期の皆様には申しわけなく思っています。しかし毎月一回の運営委員会に参加する事により、他の期別委員の方や鯉城会役員の方たちとお会いし、お話をお聞きする機会が増えて本当に良かったと思っています。

「人の話を聞く」と言えば、今年 4 月から俳句講座を受講するようになりましたが、講師の方の話が花・季節・気象・鳥類等々、話題が雑博学に富んで面白く、俳句を詠むのは苦手で大変ですが、講師の話の聞くのが楽しみです。しかしこの講座も新型コロナの影響で休講が続いています。今はただ早くこのコロナ禍が終息して、色々な活動が出来る事を願っています。



期別の活動にあたって

期別委員 上田 典男 (26 期 地域)

新緑が目鮮やかに映えるころ、坂野ひろ子氏とともに、今年度の 26 期・期別委員を仰せつかりました。

前年度の委員との引継ぎでも「このコロナ禍の中、具体的な活動は秋ぐらいから」と話し合っていたところです。実際、緑鯉城会以外でも、諸々のグループ活動を自粛する事態が長く続き、いつになったらこの霧が晴れるのだろうと悶々としている昨今です。

このような状況だからこそ、期別の活動も、当たり前のことですが「安全・安心を最優先に」考えたいです。気持ちよく会員の皆さんと交流を深めるためにも、安心して参加いただけるような方策(時期や場所・環境)を考えたいと思います。このような趣旨で会員諸氏のご提案を歓迎します。

ほぼ全員がワクチンを打ち終わり、また暑い盛りを避け、秋口から具体的な活動を始めたいと思います。それまでは、じっと我慢の日々です。



2019 年 4 月 NHK
のど自慢予選

27 期の今年度の活動

期別委員 磯部 勝 (27 期 国際)

いつ収束するのか先が見えないコロナ禍で、どんな活動をするのか悩んでいます。普通の場合であれば、「懇親会」「見学会+ランチ会」「忘年会又は新年会」が定番であろう。

しかし、コロナ禍では懇親会、ランチ会、忘年会、新年会は出来ない。さて、何をやるか？ 私が参加しているウォーキンググループは、弁当持参で参加する。ウォーキングの途中で広場を見つけ、そこで各自が弁当を食べる。屋外で密にならず、感染の心配もない。「見学会+ウォーキング+弁当」の行事を 1 つ考えたい。もう一つは、ある人からの要望で、名古屋科学館のプラネタリウム鑑賞。これも広い空間で話すこともないので安全ではないだろうか…。

鑑賞後のランチやカフェは、一緒にやらずに各自に任せる。こんなことを考えています。





期別委員になって

期別委員 阪野 敏子 (28 期 国際)

鯉城学園を卒業して、早くも 6 年が過ぎました。加えてコロナ禍の中、不要不急の外出禁止となり、気力体力の衰えが気になります。通常の暮らしに戻った時、今までのように学園を中心とした活動が、負担に感じるかもしれません。

これを機会に、身近な所で即ち緑鯉城会へ軸足を移した活動に、おおいに参加してもらいたいと思います。その橋渡しをするのが期別委員の役割と考えます。

それにはまず、私たち 28 期の結束力と風通しを良くすることが、必要と痛感します。同期生みなさんの協力をお願いします。

また、委員会では、行事やボランティア、同好会等の活動を、いつも積極的に PR をしてその様子を会員に伝えられたら良いと思います。

緑鯉城会は元気で楽しい！と会員みんなが思えるようにしたいです。

とは言え、この号が発行される頃にはコロナも落ち着き、予定の行事が再開される事を祈ります。

力を合わせて!!



29 期の期別委員になって

期別委員 熊田 八郎 (29 期 文化 A)

コロナ禍の影響で昨年度は、同期の皆さんとお会いする機会を、持つ事が出来ませんでした。今年度は、どうなるのだろうか？

現在、コロナのまん延防止が格上げされて、緊急事態宣言となり、期間も 5 月末から更に延長され 6 月 20 日までは、自粛を継続しなければなりません。

また、厄介なことに、感染力の強い変異ウィルスの発症も言われ始めています。頼みのワクチン接種が、高齢者には、7 月末迄に終わらせるとの、政府発表に期待したいと思っています。

何とか、秋頃までにコロナ禍が落ち着いて、秋の行事や年末年始の行事が、皆さんと談笑しながら楽しめるようになることを、願っています。

しかしながら、期別委員として自分の出来る事は、何かないのか？ ただ、時の経過を待つだけで無く、積極的に会員間の連携を取るような方策はないだろうか？ 回覧板を作り、各自が皆さんに伝えたい事を記述し、順番に送付して行くと言うのは、どうだろうか？ こんな事は面倒で、余分で無駄かも知れない。一人で考えても名案は、浮かばない。

先ずは、皆さんの希望等をお聞きして、何かやってみたらどうかと、今のところ思っています。

とにかく、コロナに感染しないようにしてこの時期を乗り切り、お互いに元気で緑鯉城会の仲間と楽しい行事を行いましょう。





✿ 自粛生活が残念です

期別委員 渋谷 稔 (30期 地域B)

本年度の30期期別委員をさせて頂く渋谷です、よろしくお願いいたします。
昨年度は、コロナウイルスの感染拡大の為、30期の期別行事が実施されておりません。

長い間、同期の皆さんとお会いする機会の無いまま、時が過ぎてしまいました。

今年度は、是非とも同期の懇親会などを計画して、お会いする機会を設けたいと考えています。

(顔を合わせなければ話が始まりません)

学園は現在も休校中ですが、今後も卒業生が減少すると想像されます。又、鯉城会の会員も年齢とともに自然減少となります。この様な環境の中で緑鯉城会の存在意義を何によって表現するのか？
(むづかしい問題ですね…)

私の場合は現役を引退し悠々自適の生活を送っていますが、興味を惹かれる事柄は主に「楽しいこと」「趣味のこと」「健康のこと」です。そして、緑鯉城会の行事・同好会に参加することで自分の欲求をある程度満たしていましたが(今後も続ける予定です) コロナウイルス変異株の感染拡大により、行事・同好会などの多くが休止状態となり残念でなりません。

1日も早くコロナの無い生活に戻りたいものです。皆様、コロナ感染に十分注意をしましょう。



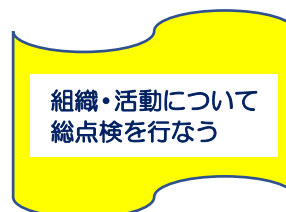
✿ 緑鯉城会の活動の点検を

期別副委員長 杉崎 四郎 (32期 国際B)

新型コロナ感染状況が収まらず、今年度も鯉城会の活動に影響が出そうです。
コロナ感染拡大以前から、緑鯉城会への新加入の減少(学園卒業の約30%程度)、既存会員の退会増大、このままでは今後の緑鯉城会の行く末が危ぶまれる思いです。これは鯉城会の活性化をするに大きな問題です。この件については、過去、多く論議を重ねて来たと思われますが、何故の所が見えて来ない。学園卒業生の入会が少ないのは、地区鯉城会に入会しても楽しくない？面白くない、役員をやらされて忙しそう？の先入観。そうでなくともクラスOB会、クラブOB会等の現役時代からの人的交流で結構楽しく時間を取られる等、敢えて入会の必要性を感じない？
学園現役生との、協業活動のアプローチも始まりそうです。

新会員、現役生の意見、要望を取り入れる運営が大事だと思います。

また、役員会は同好会活動にもっと関わる視点が必要かと思います。例えば、役員会と同好会責任者との合同打合せとか。行事の遂行作業も重要だが、今一度、緑鯉城会の活動、組織体制を総ざらいして、論議を深めるのが必要かと。



廃止・縮小・集約



現状維持と効率



拡大・新規・提携



33期、9名で楽しく活動！！

期別委員 森田 登美子（33期 健康A）

連絡位ならと軽い気持ちで引き受けて、責任の重さに身の引き締まる思いです。
本年度の活動計画としまして7月に33期懇親会、9月に32期の方と合同
懇親会、年が明けて1月に33期新年会を予定しています。

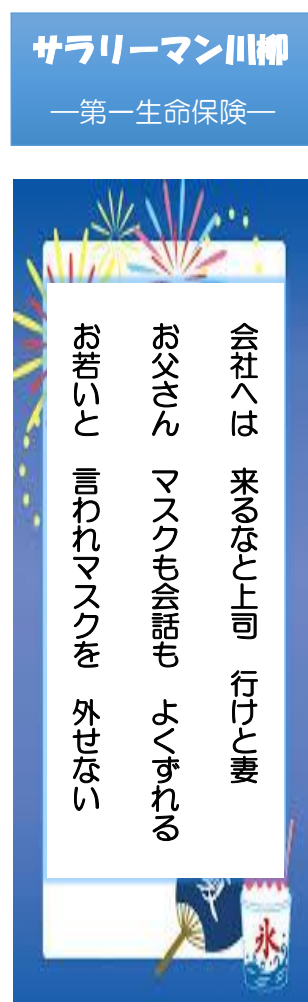
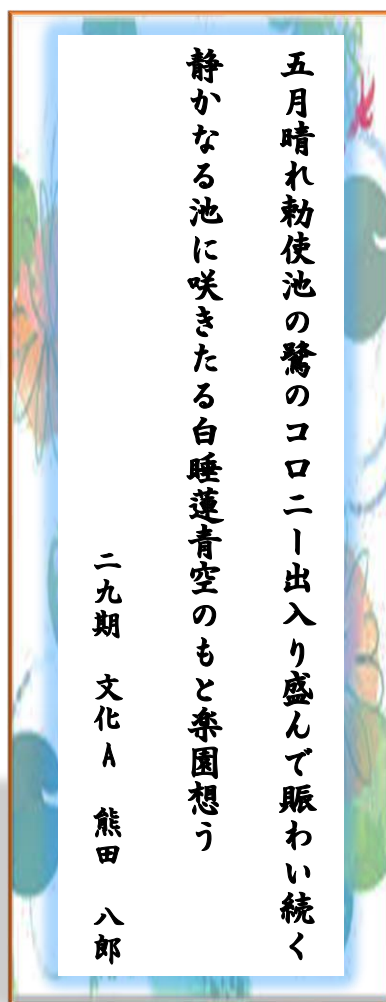
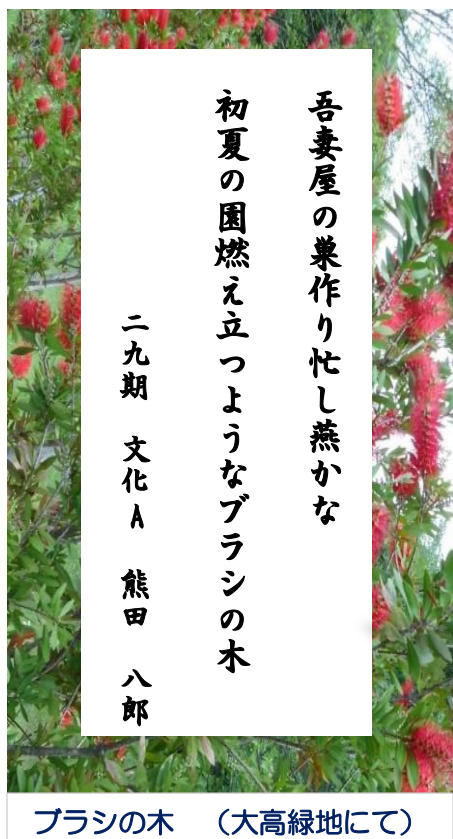
コロナ禍で活動が思うようにいきませんが、予定通り開催できる事を願っています。

33期は、鯉城学園に再入学された方が退会されたりして、会員数が現在9名と、少人数での活動になります。

昨年、雑巾を沢山縫って下さった方や、鯉城学園の図書室ボランティアに参加して下さる方等、その他のボランティア活動にも皆で参加し、又同好会活動にも積極的に参加して、緑鯉城会を盛り上げていきたいと思ひます

4月6日に、郷土の歴史を楽しむ会に参加させて頂き、南区の地形、お城の事などとてもロマンを感じました。又、宮本武蔵が暫く滞在していたお寺で、直筆の掛け軸や木刀を触らせて頂き感動しました。色々な催しに参加させて頂こうと思っています。

よろしくお願いします。



※ ウォーキング同好会の報告とこれからの予定 ※

連絡先:28 期 阿部花井 090-4183-8880

ワクチン接種も、7月までに高齢者は終わらせるとの国の方針です。緑鯨城の皆さんも済まされている事と思います。コロナの終息を期待し秋のウォーキングを計画しました。

☆ 9/30(木) 東山一万歩ウォーキング 難易度 1 歩行距離 6Km

集合場所・時間： 令和3年9月30日(木) 9時00分 地下鉄鳴子北駅改札口集合

行 程： 東山一万歩コース+植田山→公園を出て解散 ランチは自由参加

☆ 10/30(土) 愛知県森林公園ウォーキング 難易度 1 歩行距離 6Km 弁当持参

集合場所・時間： 令和3年10月30日(土) 8時30分 地下鉄鳴子北駅改札口集合

行 程： 地下鉄大曽根駅→名鉄瀬戸線→尾張旭駅下車…愛知県森林公園南門…木かげの森等を散策

☆ 11/30(火) 東谷山ウォーキングと古墳見学 難易度 1 歩行距離 4Km 弁当持参

集合場所・時間： 令和3年11月30日(火) 8時15分 地下鉄鳴子北駅改札口集合

行 程： 地下鉄大曽根駅→ゆとりーとライン乗り換え(9:30 乗車)→東谷橋下車…白鳥1号古墳…尾張戸神社…頂上…東谷山フルーツパーク



※日中の降水確率が50%以上は中止です。
また、コロナ禍の為、中止になる場合があります。
緑鯨城会ホームページで確認して下さい。

2021/03/30 扇川花見ウォーキング

16名参加 (男7名・女9名)

※満開の桜の下、チラホラと花びらの散るなか、
緑文化小劇場前から扇川沿いを通り、熊野社までの
往復約1時間45分を、感染予防のマスクを着
用して軽く汗をかきました。

緑鯨城会ホームページに「同好会の広場」を掲載しております。

同好会への参加呼びかけ、活動の案内や活動状況を、タイムリーに広く伝える事が出来ます。

現在は、休止中や活動が不定期な状況かと思いますが、再開予定の連絡や近況報告、活動変更等
掲載内容に追加・修正がありましたら、広報委員会までメール連絡をお願い致します。

*“緑鯨城会同好会”を会員の皆さんや学園在校生にも、広く紹介していきたいと思います。



令和3年：鯉城会区会別会員数

	令和1年 会員数	令和2年 会員数	令和3年 会員数	減員数 対2年
	a	b	c	d=b-c
千種	290	283	256	△27
東	88	79	63	△16
北	212	181	165	△16
西	162	144	123	△21
中村	147	131	123	△8
中	100	96	78	△18
昭和	174	161	141	△20
瑞穂	208	180	161	△19
熱田	92	90	81	△9
中川	248	242	208	△34
港	76	76	67	△9
南	164	157	149	△8
守山	234	216	188	△28
緑	312	301	263	△38
名東	261	244	233	△11
天白	228	210	192	△18
合計	2,996	2,791	2,491	△300
令和1年対比	100	93	83	

鯉城会の会員数減少を **STOP!**

鯉城会の課題はいつ解決されるのでしょうか？

鯉城会の大きな課題として、会員の減少対策、高齢化に伴う活動の見直し、地域ミーティングの在り方、“会の魅力づくり”の議論がなされてから、何年が経過したのでしょうか？

3年度は新規卒業生が0のため、▲300名と大幅に減少しました。(前年は▲205名)

今までの対応策は適切だったのでしょうか？

そもそも、この3年間の議論、対応策について検証は行なわれているのでしょうか？

(鯉城会・区会・役員会・運営委員会)

資料作成、議論だけで終わり、対応策の周知と具現化行動が、会員及び在校生には可視化されていないように思われます。

*会員数：鯉城会資料より

(R3年：緑鯉城会は最大の減少数です)

編集後記

多数の寄稿有り難うございました



コロナ緊急事態宣言のなか、81号へ寄稿をいただき、有り難うございました。本号は原稿依頼、寄稿・写真データ、編集原稿の確認、修正原稿の相互確認等々について、99%をEメールやラインで行ないました。(以前は郵便、電話、FAX)

さらに、印刷・製本も“ネット印刷”を利用し、「非対面・非接触・3密回避」を守りながら、発行を継続する事ができました。ご協力に感謝致します。

又、今号は本会の課題に対して、多くの改革提案が発信されております。

運営委員会で協議し、“自分事”として行動することが「明日の緑鯉城会」に必要なと思います。

広報委員会

31期 奥野 幸泰	090-6093-0183	yukiAR1105@outlook.jp
31期 河村 興彌	090-2267-4141	ttymserkwmr410@yahoo.co.jp
32期 廣瀬 義忠	090-7611-6755	bibi@carrot.ocn.ne.jp
33期 亀井 恒夫	070-4377-1465	k_thskt7571@qc.commufa.jp
25期 水谷 健二	090-2617-4782	nwjh2gla@gmail.com
29期 熊田 八郎	090-9918-9034	hkuma383@jasmine.ocn.ne.jp

*25期水谷さん・29期熊田さんは、広報サポーターとして参加をお願いしております。

緑 鯉 城 会 オ リ ジ ナ ル ホ ー ム ペ ー ジ



<https://midori-kojyo1989.jimdofree.com>

スマホ・タブレット・パソコンから閲覧 (QRコード&URLからアクセス)